



# 宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.59

令和7年3月17日

文責：校長 伊藤 孝行

## 卒業式の練習が始まりました。

今年の卒業式は、土日の関係で例年より2日ほど早い来週の3月21日（金）です。

先週、1回目の全体練習を行いました。

今年の卒業生は2名ですが、最上級生として下級生の模範となるよう頑張っています。卒業生の歌は2名ですが、心を込めて歌っています。



2年生以上は昨年も参加しているので、心構えができていて、それを見た1年生の子どもたちもきちんとした態度で練習に臨んでいました。



## 令和7年度の通知票改訂2期制のお知らせ

現在宮城小学校では、通知票は学期ごとに作成・配布する3期制で進めています。

現在の方式では、特に2学期末の12月と3学期末の3月に短い期間で評価を出し通知票を作成していますが、子どもの変化を評価するには期間が短いという短所があります。

そこで、令和7年度は通知票を2期制にして内容の充実を図るように考えています。

R 6	1学期末	2学期末	3学期末
R 7	前期9月末	後期3月末	

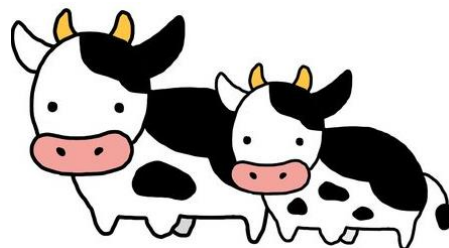
お子さんの学習状況や生活の様子については、教育相談等を活用しながら、随時分りやすいようにお伝えしていく予定です。

## 今年度最後の集会委員会読み聞かせ



集会委員会では、業間の時間に読み聞かせを行ってきました。先日、今年度最後の読み聞かせがありました。

今回、読み聞かせしてくれた本は、ネットでも大きな話題になった「もうじき たべられる ぼく」です。



あらすじは、食肉用として育てられた子牛が、その運命を受け入れる前、離れ離れになったお母さんに最後に会いに行くことを決意するところから始まります。

母牛に会うため、電車に乗り、生まれた牧場を訪ね、自分より幼い牛たちと過ごす母親を遠目に見つけるが、母の気持ちを思い声をかけることをやめて帰ることにする。その直後、牧場沿いの線路を走る電車の窓を見た母牛は、そこに息子の姿を見つけ母牛は電車を追いかけた。

2人（2頭）は、こうして短くも心を重ねる最後のお別れをし、子牛は、ふっきれたように、自分を食べる人が、自分のいのちを大切にしてくれることを願う。というお話です。

私たちは、生きるために肉や魚を食べています。そのことは、他の動物の命をいただいていることに他なりません。

集会委員さんの朗読を聞いて、こんなことを感じました。